

## Visitors from Overseas to KPC

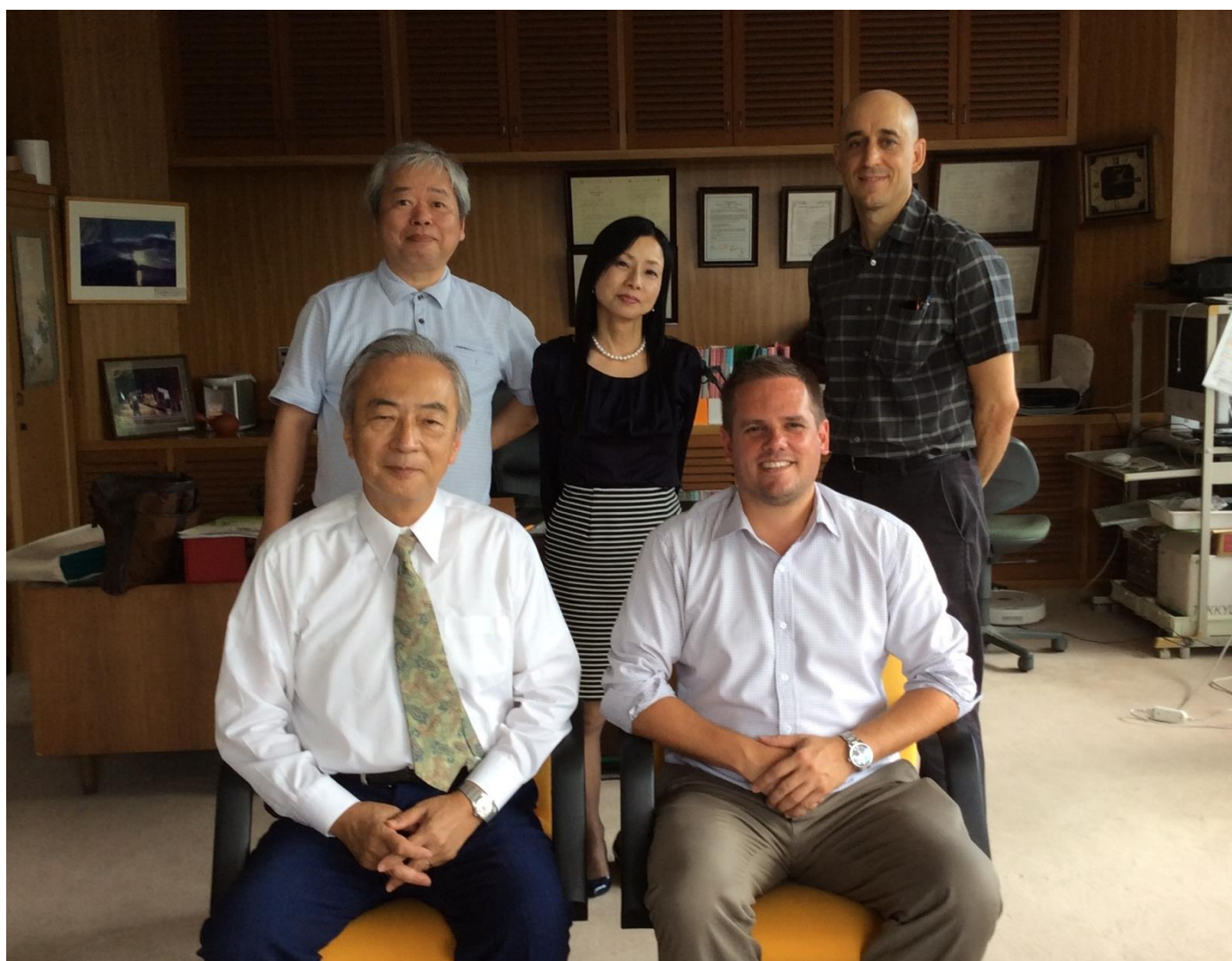
September 22, 2017

# University of Wisconsin, River Falls

9月22日、本学の編入協定校であるアメリカのウィスコンシン州立大学リバーフォール校（UWRF）から留学生入学事務担当のBryan Holzerさんが本学に来訪し、野呂学長と今後の更なる交流の可能性について話し合いました。

On September 22, Mr. Bryan Holzer, International Admissions Counselor at our student transfer institution, the University of Wisconsin-River Falls (USA), visited Kagoshima Prefectural College to discuss future collaborations with President Noro.

### 学長表敬訪問



学長室にて  
前列左より野呂学長、Bryan氏、後列左より朝日教授、土持助教、アダメック教授

# Visitors from Overseas to KPC

September 22, 2017

## University of Wisconsin, River Falls

### 県短生との座談会

学長表敬訪問の後、応接室において、UWRF に編入学を希望している在學生 5 名とブライアンさんで座談会を開催しました。参加した学生は、出願や専攻の選択方法、アメリカ渡航後の生活などについて積極的に質問していました。ブライアンさんは、UWRF についてだけでなく、一般的なアメリカの大学のシステムについても丁寧に説明してくださいました。ここでは、座談会の様子を紹介しましょう。



**参加学生：**出願準備はいつから始めるべきでしょうか？

**Bryan さん：**出願期間は、入学のちょうど 1 年前から始まります。在学している学校の卒業が確定してから出願する人もいますが、可能な限り早く出願した方がいいです。また一度に全ての書類を提出しなくても、途中で書類を追加したりすることが可能です。学生ビザの申請には時間を要する場合もあるので、とにかく、入学を希望する意志を早めに Admissions に伝えてくれると、様々なプロセスが早く進みやすいです。例えば、来年の秋学期に入学を希望するなら、既に出願期間は始まっています。今すぐにする必要はありませんが、来月出願を開始しても OK ですよ。

**参加学生：**アルバイトは留学生もできますか？

**Bryan さん：**留学中のアルバイトは可能です。週に 20 時間までキャンパス内で働くことができます。時給はだいたい \$8 です。アルバイトをしている留学生は沢山いますよ。

**参加学生：**入学が決まったら、いつまでにアメリカに渡航すればいいですか？

**Bryan さん：**学期が始まる 1 週間前に留学生は到着します。例えば今年のカレンダーでは、8 月 25 日に到着し、1 週間の留学生用オリエンテーションが開催されました。そして、9 月 6 日に授業がスタートしました。

## Visitors from Overseas to KPC

September 22, 2017

# University of Wisconsin, River Falls



**参加学生：**UWRF で人気のある専攻は何ですか？

**Bryan さん：**UWRF 全学生の人気専攻ベスト5は、①Business Administration、②Psychology、③Animal Science、④Biology、⑤Elementary Education ですが、留学生に人気があるのは、Business Administration、TESOL、English、International Studies など英語関連の専攻が多いです。

**参加学生：**専攻はいつどのように選択したらいいですか？

**Bryan さん：**出願時、願書には希望する専攻を記入してもらいますが、出願後に専攻を変更することも可能です。まず TESOL を勉強し、やっぱり Biology を学びたいと思ったら次の学期から変更することも可能です。ただし、専攻を変えると、その分だけ在学期間は長くなります。また、同じ学部内で変更する方が、他学部へ変更するよりも簡単です。major（専攻）の他に、minor（副専攻）、double major（ダブル・メジャー、複数専攻、二つの学位を取得するために同時に2分野を専攻すること）など様々な学位の取り方があるのもアメリカの大学の特徴です。みなさん一人ひとりにあった専攻選びはとても重要なプロセスですが、そんなに心配することはありません。UWRF では、入学後に、卒業までの学修をサポートするカウンセラーが学生ひとりひとりに配属されます。個人にあった学修をアドバイスしてくれます。

**参加学生：**英語力が心配なのですが...

**Bryan さん：**UWRF には世界中から沢山の留学生がいます。留学生はみんな自分の英語力に不安があるので、助け合いながら学校生活を送ることができます。アメリカで生活すると、もちろん24時間英語に触れることができるので、日々英語力に自信がつくでしょう。またアルバイトをすると様々な人とコミュニケーションをする機会を得られるので、英語力を向上させるためにとてもいい方法なのでオススメです。



## Visitors from Overseas to KPC

September 22, 2017

# University of Wisconsin, River Falls



**参加学生：** ウィスコンシンは寒い所だと聞きました。どのくらい寒いのですか？

**Bryan さん：** 日本と同じく四季があります。冬の寒さは確かに厳しいですが、寒い期間は約2ヶ月ほどです。建物の中はどこも常に暖かいですし、大学の建物の間を移動するのも10分ぐらいあればできます。寒さを我慢するのもその10分間だけです。ですから、寒さはそこまで心配する必要はありませんよ。

**参加学生：** 夏休みなどの長期休みは、留学生は何ををするのですか？母国に帰るのでしょうか？

**Bryan さん：** 大学は開いているので寮に残る留学生もいれば、それぞれ国に帰る人もいます。また、アメリカ国内を旅行してもいいと思います。寮に残る学生はアルバイトをして、次の学期のために貯金する事もできます。

**参加学生：** 夏休み期間中の寮での滞在はお金がかかりますか？

**Bryan さん：** セメスター期間中よりは、安い料金で寮に滞在することができます。夏休みや冬休みにキャンパスに残って、集中講義を履修したり、キャンプに参加したりする学生もいます。



# Visitors from Overseas to KPC

September 22, 2017

## University of Wisconsin, River Falls

### \*\*\* 県短スタッフより \*\*\*

BryanさんはUWRFのあるリバーフォールズ出身で、ご自身も日本やノルウェーなどに留学経験がある留学のプロフェッショナルです。これまでの渡航経験は世界100カ国以上。アジアにも10年以上居住経験があり、日本では大阪と富山に合わせて約3年間住んでいらっしまったそうです。また、ご自身の留学経験から留學生の感じる不安をよく理解されており、何でも相談して欲しいとおっしゃっていました。

UWRFは学生数約6,000名で、アメリカの大学では比較的小規模の大学です。この特徴を生かし、学生一人一人へ手厚いサポートが提供されています。アメリカというと西海岸のロサンゼルスや東海岸のニューヨークが目立ちますが、中部へ留学には利点があるとBryanさんは説明します。中部の英語は発音が明瞭で聞き取りやすく、ニュースキャスターは中部の州出身が多いそうです。また地元のアメリカ人との交流機会が多いということもアピールされていました。留学先として、とてもよい環境ですね。



Bryanさんを囲んでランチ懇談会の様子

現在、UWRFへの編入学に必要な英語運用能力試験のスコアは、TOEFLは78点、TOEICは730-750点です。少しハードルが高くなっていますが、UWRFと県短は編入学協定を結んでいます。出願締め切りまでに英語力が足りなくても、UWRFに留学したいという強い意志があれば、早めに本学スタッフに相談してみましょう。Bryanさんによると、UWRFへの出願を済ませた上で、渡航までに一生懸命英語を勉強して英語力を磨き、UWRF入学後のプレースメントテストで英語力が十分であると判断されれば、そのまま学部課程に編入可能なケースもあるそうです。英語力が心配である場合は、6月にUWRFに編入学した本学卒業生が話してくれたように、Rhonda Petree先生（5月来訪）のEnglish Language Transition (ELT) Programに参加し、大学に必要な英語力を身につけながら徐々に学部の授業を履修していくという方法もあるので、あまり心配しなくて良さそうです。

留学には、出願書類、F-1学生ビザ取得、英語試験対策、奨学金など準備しなくてはならないことが沢山あります。情報を沢山集めて、早めに準備を始めましょう。また数ヶ月以内にUWRFから来校される予定があるそうです。決まり次第お知らせするので、学内の掲示板や県短メールの確認を日頃から心がけておきましょう！！

最後に、本書作成にあたり、座談会に参加した学生の皆さんに原稿執筆の協力をしてもらいました。ご協力ありがとうございました！UWRFへの留学準備がんばって下さい◎

(2017年9月25日 英語英文学専攻)